



## 救急車の適正な利用

# 119

肝属管内の救急出動件数は<sup>※1</sup>

10年で**1,800**件以上**増加**。

しかし、その約**37**%は

入院を必要としない**軽傷**でした。

限りある救急車を

本当に必要なとき、必要な人へ。

大隅肝属地区消防組合では、

昨年1年間に7,256件の救急出動があり、10年前に比べ、1,800件以上増加しています。救急車の出動件数は全国的にも年々増加しており、今後も増え続けると予測されています。

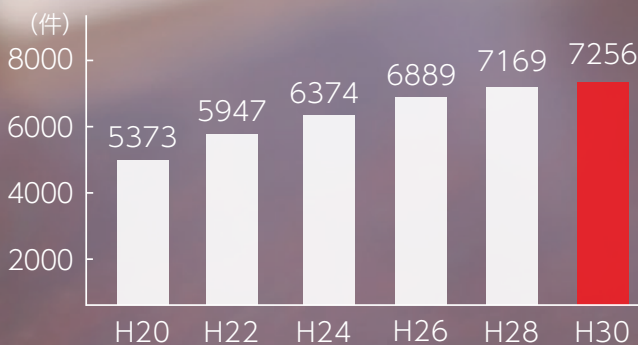
その背景には、高齢者の増加に加え、独居世帯による移動困難者の増加、携帯電話の普及でいつでも電話できる状況など、さまざまな要因が考

えられます。

しかし、平成30年に救急車を利用した人のうち、約37%は入院を必要としない軽症でした。管内においても「救急車をタクシー代わりに使う」「救急で行けば早く診察してもらえる」などの理由で通報するケースが後を絶ちません。その結果、本当に救急車を必要としている人への対応が遅れ、救えるべき命が救えなくなってしまう可能性があります。

ます。通報する前にもう一度考えてください。

一方で、痛みや苦痛を我慢し、診察や通報をためらうケースもあります。特に高齢者に多く、早めに搬送されると助かる病気も、通報の遅れや迷いから、助かっても寝たきりになるなど、その後の人生に大きな影響を及ぼす可能性があります。おかしいと思ったら迷わず119番をお願いします。



大隅肝属地区消防組合管内の救急出動件数 (H20～30)

※1